

7 月 教育長 教育行政報告

令和 8 年

- 6 月 24 日(水) 第 4 回学校経営等協議会
25 日(木) 第 1 回人事にかかる学校訪問 (第 9 日)
26 日(金) 人事評価制度に伴う校長当初面談 (1 日目)
29 日(月) 第 1 回人事にかかる学校訪問 (第 10 日)
30 日(火) 第 3 回甲賀市議会定例会 本会議 (第 7 日)
- 7 月 1 日(水) 部長会議
第 1 回甲賀市 I C T 推進本部会議
特殊詐欺対策幹部会議
第 76 回”社会を明るくする運動” 内閣総理大臣メッセージ伝達式・街頭啓発
- 2 日(木) 第 70 回滋賀県町村教育委員会連絡協議会 定期総会 (※ 1)
- 3 日(金) 人事評価制度に伴う校長当初面談 (2 日目)
6 日(月) 人事評価制度に伴う校長当初面談 (3 日目)
7 日(火) 第 1 回甲賀市教育行政評価委員会
絵本「じりつしんけいかぶしき会社」の受領
第 8 回甲賀市教育委員会委員協議会
第 1 回甲賀市災害対策本部会議
- 8 日(水) 人事評価制度に伴う校長当初面談 (4 日目)
第 1 回部活動の地域展開に関する協議会 (※ 2)
- 9 日(木) 全国都市教育長協議会 第 3 回理事会 (東京都) (※ 3)
- 10 日(金) 第 3 回滋賀県立高等学校在り方検討委員会 (※ 2)
第 6 回甲賀市災害対策本部会議
- 11 日(土) 甲賀市青少年育成市民会議研修会
13 日(月) 藤井寺市柏原市学校給食組合議会 行政視察訪問
第 3 回甲賀市部活動地域展開検討協議会
- 14 日(火) 第 7 回甲賀市災害対策本部会議
15 日(水) 部長会議
17 日(金) 第 8 回甲賀市災害対策本部会議
18 日(土) 第 14 回ふれあいゆるスポフェスティバル

- 7月19日(日) 第4ブロック中学校夏季総合体育大会兼第79回滋賀県
中学校夏季総合体育大会第4ブロック予選大会
- 20日(月) 親子でふれあう「かぶとむしの里」訪問
- 21日(火) 第8回甲賀市教育委員会定例会

(※1) 印は、「滋賀県都市教育委員会連絡協議会会長」として出席されています。

(※2) 印は、「滋賀県都市教育長会会長」として出席されています。

(※3) 印は、「近畿都市教育長協議会副会長」として出席されています。

令和 8 年第 3 回甲賀市議会定例会（6 月）提出議案（教育委員会関係）
の結果について

1 補正予算案件

（1）令和 8 年度甲賀市一般会計補正予算（第 1 号）

《甲賀市議会 議案第 57 号》

（第 1 表）歳入 34,309 千円 歳出 58,008 千円

【原案のとおり可決】

■補正予算の主な内容

【歳入予算の補正】

● 国庫支出金（地域未来交付金）	6,579 千円
● 寄附金（社会教育寄附金）	7,000 千円
● 繰入金（教育振興基金繰入金）	3,570 千円
● 諸収入（スポーツ振興くじ助成金）	17,160 千円

【歳出予算の補正】

国県等の補助採択等に伴うもの

● 多羅尾代官陣屋環境整備事業	50 千円（国 50）
● 地域文化財活用事業	830 千円（国 3,890、一財▲3,060）
● 信楽焼調査事業	229 千円（国 1,367、一財▲1,138）
● 水口岡山城跡活用事業	602 千円（国 817、一財▲215）
● 紫香楽宮跡活用事業	318 千円（国 455、一財▲137）

国の地域未来交付金（地域未来推進型）の採択に伴う財源更正及び関連する経費を増額

● 総合型地域スポーツクラブ活動補助	409 千円（諸収入 1,160、一財▲751）
--------------------	--------------------------

独立行政法人日本スポーツ振興センターによるスポーツ振興くじ助成金の決定に伴い、総合型地域スポーツクラブへの活動補助金を増額

寄附金の受領に伴うもの

- 小学校の備品等購入 3, 5 7 0 千円（繰入金 3,570）
令和7年度中に教育振興基金に積み立てた寄附金を財源として、佐山小学校の備品等を購入
- 水口歴史民俗資料館運営事業 7, 0 0 0 千円（寄附 7,000）
個人1名からいただいた社会教育寄附金を財源として、巖谷一六詩書屏風や扁額、掛軸等の保存修理及び巖谷一六・小波記念室の整備を実施

その他の事業

- 文化施設維持補修事業 4 5, 0 0 0 千円（一財 45,000）
漏水の影響等であいの丘文化公園内の給水管周辺道路で崩落の可能性があることから給水管布設工事を行うための経費を追加及び汚水配管の破損により使用できなくなっているあいこうか市民ホール事務所前トイレの修繕にかかる経費を追加

2. 一般質問

別紙のとおり

令和8年第3回甲賀市議会定例会 一般質問

令和8年6月16日・17日・18日・19日

日程	順番	議席番号	氏 名	質問方法	質 問 事 項
6 月 16 日 (火)	1	7	古 賀 友 康	一問一答	1 若者・子育て応援プロジェクトの進捗に関して
					2 地方創生・「ゴルフのまち甲賀」推進という市民の皆様からのご意見に関して
	2	21	田 中 喜 克	分割	1 「突然に大地震が」、今、わたしたちは何を準備し、何に備えなければならないのか
					2 信楽高原鐵道の効率運営と市内地域活性化を
					3 「水・緑多き自然・環境未来都市」甲賀市、どのようなまちを創造し、どのような施策展開を推し進めるのか
	3	11	糸 目 仁 樹	一問一答	1 出勤実績が皆無の消防団員への報酬・退職金について
					2 小学校児童生徒と地域の関わり方に関する指導について
	4	12	西 山 実	分割	1 高齢者を狙った消費者被害を防止するための対策の強化を
					2 部活動・遠征等に伴う交通安全対策について
					3 市道・公園等の樹木の適切な維持管理を
					4 地下道アンダーパスの管理強化を
					5 アスベスト飛散防止対策の強化について
	5	24	谷 永 兼 二	分割	1 青少年自然体験活動の安全と振興について
					2 公共駐車場の有料化に関する検討状況と今後の方針について
	6	18	岡 田 重 美	分割	1 青土ダム駐車場のトイレ改修について
				一問一答	2 産廃処分場計画地における地すべりの危険性について
				分割	3 外部委託事業、甲賀・湖南権利擁護支援センターばんじーの体制強化について
				一問一答	4 市営住宅におけるエアコン未設置世帯へのエアコン設置について
6 月 17 日 (水)	7	13	木 村 眞 雄	一問一答	1 甲賀市職員の副業・兼業認可について
					2 学校教育における生成AIの活用について
					3 読書バリアフリーの推進について
	8	19	山 岡 光 広	分割	1 イラン情勢が緊迫化する中で、石油由来の製品が逼迫・値上がりするなどの影響への緊急対策について
					2 学童保育・児童クラブの充実を求めて
					3 信楽地域の小学校統合とその対応について
					4 不登校対策と「学びの多様化学校」について
					5 教員の長時間労働の是正について
	9	20	堀 郁 子	一問一答	1 終活支援について
					2 防災について
				分割	3 災害発生時における避難所等の通信確保について
					4 新総合防災情報システム(SOBO-WEB)について
	10	2	長 源 一	一問一答	1 持続可能な地域経営と関係人口の創出等について
					2 改正食料・農業・農村基本法と農村関係人口の創出等について
	11	6	中 島 裕 介	一問一答	1 甲賀のくすり(香育のすすめ)
				分割	2 防災庁誘致を甲賀市に
					3 環境未来都市・甲賀の実現に向けた連携協定について

日程	順番	議席番号	氏 名	質問方法	質 問 事 項
6 月 18 日 (木)	12	15	小 倉 剛	分割	1 市内の防犯カメラ設置状況について
				一問一答	2 地域活性化のための学校教育推進について
				分割	3 農業委員の改選を控え
	13	14	奥 村 則 夫	一問一答	1 自治振興交付金について
				分割	2 コミュニティセンターと公民館の役割整理及び今後の社会教育機能のあり方について
	14	10	福 井 進	一問一答	1 道の駅あいの土山整備事業に関して
				分割	2 小学校特別教室・体育館へのエアコン設備の設置に関して
					3 こどもたちに暮らし続けてほしいと思えるまちづくりを
	15	17	西 村 慧	一問一答	1 特定外来生物等の対応について
					2 公共施設の休館日について
					3 指定緊急避難場所の指定について
	16	4	富 増 力 章	一問一答	1 甲賀市消防団組織再編計画と甲賀市消防施設長寿命化計画について
					2 滋賀県立信楽窯業技術試験場創立100周年と信楽焼振興について
6 月 19 日 (金)	17	8	出 口 雅 之	一問一答	1 地域共生社会を存続させる必要性について
					2 消防車両の寄贈について
	18	3	村 木 慶 太 郎	一問一答	1 甲賀映像祭を踏まえた「映像のまち甲賀」の検証と今後の展開について
					2 小学校の体育館の断熱・遮熱改修について
	19	9	西 田 忠	一問一答	1 何度もリピートしたくなる道の駅あいの土山となるために
					2 潜在保育士の活用について
	20	1	若 狹 健 太	一問一答	1 夏休みの放課後児童クラブ待機児童ゼロを目指して
					2 公共施設維持管理経費の縮減に向け情報の見える化を
					3 その人らしく生きるために甲賀市ができることは何か
	21	23	橋 本 恒 典	一問一答	1 デスティネーションキャンペーンに伴うJR草津線の活性化と観光振興について
					2 市内におけるプール活動について
					3 中学生国際交流事業について
				分割	4 市内の児童養護施設との連携について

順番	質 問 事 項	質 問 要 旨	一連番号	質問の相手
1	7 番 古賀 友康 議員	【一問一答】 《第 1 日》 （1／6）		
	2. 地方創生・「ゴルフのまち甲賀」推進という市民の皆様からのご意見に関して	③過去に甲賀市内の小学校でゴルフに関して取り組まれたことがあると伺ったことがあるがどのように実施されたのか？ ④実施後に生じた課題は？ ⑤継続できるように上記課題を解決できないものか？	2-3 2-4 2-5	③教育長 ④教育長 ⑤教育部長
3	1 1 番 糸目 仁樹 議員	【一問一答】 《第 1 日》 （3／6）		
	2. 小学校児童生徒と地域の関わり方に関する指導について	①小学校児童の登下校中に、名札を付けさせないように指導していると聞く。これは事実か。事実であれば、その目的は何か。 ②児童がスクールガードの人から名前や居住地域を聞かれた場合、どの様な対応をすべきと指導しているか。 ③例えば、児童が登下校中に交通事故などに遭い、最初に駆けつけるのがスクールガードの人だとした場合、個人情報を聞き出さなければならない場面もあり得る。その様な場合はどの様にすれば良いのか。 ④個人情報保護も大切であるが、個人情報の保護が過剰になることで、地域とのつながりが希薄化し、児童の安全が脅かされることも考えられる。この点について、教育委員会の認識はどうか。	7-1 7-2 7-3 7-4	①教育長 ②教育長 ③教育長 ④教育長
4	1 2 番 西山 実 議員	【分割】 《第 1 日》 （4／6）		
	2. 部活動・遠征等に伴う交通安全対策について	甲賀市における部活動・遠征等に伴う交通安全対策について、質問する。 ①部活動の移動も含めた校外活動時の安全確保について、各学校の「危機管理マニュアル」は整備され、記載内容を点検し、必要に応じて改定等がなされてきたか、伺う。 ②部活動の遠征等は、主にどのような方法で移動しているのか、公共交通による移動が適切と思われるが、今回の事故のようにマイクロバスによる移動の実態はあるか伺う。また、長距離遠征の実態はあるか、伺う。 ③部活動中の安全確保について、顧問の教師等任せにせず、活動内容の規模や内容に応じた必要な教職員等の配置、緊急連絡体制が必要と考えるが、対策は取られているか、伺う。 ④今回の事故や通知を受けてどのような調査や緊急の対策を取られたのか、伺う。	9	教育部長
	5. アスベスト飛散防止対策の強化について	建材等に広く使用されてきた石綿（アスベスト）は、肺がんや中皮腫などの原因となる。アスベスト対策については、解体にあたって安全対策を講じることが重要である。とりわけ教育施設・公民館等の公共施設における管理について、担当部長に聞く。 ①教育施設・公民館におけるアスベストの点検、除去の施行状況について伺う。また、施設ごとの台帳管理はできているか、どのように管理しているのか伺う。	12-1	①教育部長
5	2 4 番 谷永 兼二 議員	【分割】 《第 1 日》 （5／6）		
	1. 青少年自然体験活動の安全と振興について	甲賀市は平成19年の痛ましい事故を教訓に、2010年に青少年自然体験活動振興計画を策定した。策定から14年、子どもを取り巻く環境は大きく変化し、学校再編、気候変動や地域力の低下など新たな課題も生まれている。今こそ、この計画を安全の視点から再点検する必要がある。さらに、来年で事故から20年を迎える。一つの節目としての取り組みが必要と考える。 ①計画策定の原点となった事故の教訓は、現在の安全体制にどのように生かされているのか。安全対策マニュアルは更新されているのか。 ②自然体験活動推進委員会および青少年自然体験活動支援センターの運営状況はどうか。近年の開催実績・職員配置・P D C Aの実施状況を示されたい。 ③計画が掲げる 5 つの推進プランの進捗状況を、指標を用いて説明されたい。（安全実施の体制の確立と啓発、自然体験活動に対する理解の促進、自然体験活動の指導者・団体の育成、自然体験活動の場の確保と整備）特に「指導者育成」「場の整備」「情報提供」の現状はどうか。 ④気候変動・熱中症・河川リスク・指導者不足など、現代の課題に対応するため、計画の改定を検討すべきではないか。所見は。 ⑤最後に今年度の安全誓いの日の取り組みと来年で事故から20年を迎える一つの節目としての取り組みなど方向性を伺う。	13-1 13-2 13-3	①②③ 教育委員会事務局理事 ④教育長 ⑤市長

順番	質 問 事 項	質 問 要 旨	一連番号	質問の相手
7	1 3 番 木村 眞雄 議員	【一問一答】 《第2日》 （1／5）		
	2. 学校教育における生成 A I の活用について	①生成 A I が学校教育に与える影響（メリットとデメリット）について、どのように認識しているか伺う。 ②現在、市内小中学校において、生成 A I の利用実態をどのように把握しているか伺う。 ・児童生徒の学習における利用状況 ・教職員の校務利用状況 ③生成 A I を教職員の業務負担軽減に対して、どのように活用していくか伺う。（通知表所見、教材作詞、会議録、保護者宛文書などについて） ④生成 A I を不登校児童生徒や特別な支援を必要とする子どもたちへの学習支援に活用する考えについて伺う。 ⑤生成 A I 時代に対応した情報モラル教育を、今後どのように進めていくか、考えを伺う。 ⑥個人情報保護や著作権などの課題を踏まえ、学校現場における生成 A I の利用ガイドライン整備をどのように進めていくか伺う。 ⑦今後の学校教育における生成 A I との関わり方について、所見を伺う。	20-1 20-2 20-3 20-4 20-5 20-6 20-7	①教育部長 ②教育部長 ③教育部長 ④教育部長 ⑤教育部長 ⑥教育部長 ⑦教育長
	3. 読書バリアフリーの推進について	①読書バリアフリー法の主旨をどのように捉えているか、見解を伺う。 ②読書バリアフリー法に基づき、本市図書館の経営で大事にされていることについて伺う。 ③本市図書館の読書バリアフリーへの取組の現状について伺う。 ④様々なバリアフリー本（L L ブック、大活字本、点字本等）の整備状況と利用実態について伺う。 ⑤「りんごの棚」のように、読書困難者支援資料をわかりやすく集約・発信・支援するコーナーの設置について ・認識と見解を伺う ・本市図書館の現状（設置状況、設置された時期と背景、利用状況）を伺う。 ⑥学校図書室や特別支援教育との連携を含め、子どもたちの読書環境の保障をどのように進めるのか伺う。 ⑦誰もが利用しやすい図書館づくりは、共生社会実現の象徴的な取組みである。できるところから始めることが肝要と考えるが、所見を伺う。	21-1 21-2 21-3 21-4 21-5-1 21-5-2 21-6 21-7	①教育委員会事務局理事 ②教育委員会事務局理事 ③教育委員会事務局理事 ④教育委員会事務局理事 ⑤教育委員会事務局理事 ⑥教育委員会事務局理事 ⑦教育長
8	1 9 番 山岡 光広 議員	【分割】 《第2日》 （2／5）		
	3. 信楽地域の小学校統合とその対応について	①5つの小学校を1つに統合するという市の再編計画について、信楽地域の保護者・地域の合意形成は、どうなっているのか。意見の吸い上げとその対応についてはどうか。 ②校名など今後検討すべき課題は、5月に発足した「準備委員会」で練られるものと理解をするが、今回は仮に統合となった場合、遠距離通学となる子どもたちの通学保障をどのようにするのかに絞って伺う。関心が高かったバブコメの意見の中でも約4割が「どうして通学するのか」という問題であった。当初計画では①コミバス混乗型、②全部委託型、③一部委託型、④直営型の運営形態が考えられる、と説明があった。義務教育における通学保障は、設置者の責任であり、どの子どもも、安心して通学できる体制整備が求められる。市として、現時点の基本的な考えと、課題について伺う。 ③また、今回の再編に伴う通学にかかる費用については、当然、保護者負担を伴わないものと理解をするが、その方向ですすめているのか。	24-1 24-2 24-3	①教育長 ②教育部長 ③教育長
	4. 不登校対応と「学びの多様化学校」について	①長期・継続的にも含めて昨年度「年間30日以上欠席」の児童生徒は337人。またそれまでは至らずとも「行き渋り」の子どもたちは多い。なぜこういう事態が増えているのか、不登校に対する認識について伺う。 ②市教育委員会では「支援につながっていいない児童生徒をゼロ」にする取り組みを進めている。令和7年度の実態はどうか。 ③教育支援センターやフリースクールは、甲賀市でも取り組まれているが、市として「学びの多様化学校」創設の考えはないか。長浜市の場合は、独立した学校というのではなく、浅井中学校の分教室として開校した。定員15名。市内の子どもたちが通所している。少人数で子どものベースにあわせて学べる「不登校特例校」は、今年度開校した25校を含めて全国で84校ある。文科省では「すべての都道府県に少なくとも一校以上設置を」という基本方向を示している。長浜の学校を視察して一番大事に視点は、「公教育」として、学びを保障している点である。3月議会では、「まずは教育支援センターの拡充」と答弁されているが、甲賀市教育委員会として「学びの多様化学校」に対する必要性和その認識、今後の見通しはどうか、について伺う。 ④不登校の急増は、学校での競争と管理をエスカレートさせた第二次安倍政権とともに始まっている。こどもが学校に生きづらいと思い始めたきっかけは、「先生との関係」「勉強はわかるけれど授業が合わない」などをきっかけに「学校嫌い」となり、学校に行きづらい子どもを生んでいるのではないか。不登校対策を進めるうえで、学校そのものが楽しく学ぶ場となるよう改善するべきではないか。少人数学級で行き届いた授業をすすめることも大事ではないか。教育長の所見を問う。	25-1 25-2 25-3	①教育長 ②教育部長 ③④教育長
	5. 教員の長時間労働の是正について	特に教職員の時間外労働を是正するために、次の5点について問う。 ①月平均の時間外が80時間を超える割合は、令和3年度の場合、小学校で7.5%、中学校で7.1%あったものが、令和6年度では小学校4.5%、中学校3.0%と徐々に改善はされている。現状の時間外勤務の実態はどうか。学校によって特徴はあるのか。 ②計画では、「月の時間外を45時間以下の割合を10%」にする目標にしている。「80時間超」ゼロにするとしているが、そもそもいま、時間外が多くなっている要因は何か。書類による報告事項が多いなど業務改善をする必要があるのではないか。 ③時間外勤務の実態把握は、性格に行われているか。甲賀市では「公務支援システム」が導入されているが、時間外勤務を正確に実態把握できている。また、いわゆる「持ち帰り」はないか。校外に出た場合は、「公務支援システム」を生かしているのか。 ④教職員の負担を軽減するための「学習支援員」の配置と勤務状況はどうか。教職員の業務量軽減になっているか。 ⑤教職員の長時間外勤務が常態化すれば、健康も害する。健康管理は、どのようにしているか。メンタルで休職している職員はないか。	26	①教育部長 ②教育部長 ③教育部長 ④教育部長 ⑤教育部長

順番	質 問 事 項	質 問 要 旨	一連番号	質問の相手
11	6 番 中島 裕介 議員	【一問一答】 《第2日》 (5 / 5)		
	1. 甲賀のくすり (香育のすすめ)	五感を通じた体験は、子どもから高齢者まで世代を超えて、人の記憶や感情、安心感に関わる重要な要素であり、教育と福祉をつなぐ視点としても大切であると考えられる。そこで、子育て・教育・福祉を横断した『五感』を活かした取組について伺う。 ①本市は、子どもたちの成長における『五感を活かした体験』の重要性について、どのように認識しているのか伺う。 ②現在、本市の学校教育や子育て支援、地域活動において実施されている自然体験・食育・ものづくり体験・香りを活用した取組など、五感を活かした取組状況について伺う。 ③香りを通じて感性や心を育む「香育」について、本市としてどのように考えているのか伺う。 ④教育・子育て・福祉を横断した「五感」を活かした取組について、今後研究・検討する考えについて伺う。	33-1 33-2 33-3 33-5	①教育長 ②教育部長 ③教育部長 ⑤副市長
12	15 番 小倉 剛 議員	【1 : 分割、2 : 一問一答】 《第3日》 (1 / 5)		
	1. 市内の防犯カメラ設置状況について	防犯カメラは犯罪抑止効果があるだけではなく、昨今の多種多様な事件の早期解決にもつながる。市内の設置状況及び、記録媒体の警察での使用実態を聞く。 ④小中学校を始めとする教育施設の設置状況を伺う。	36-3	④教育部長
	2. 地域活性化のための学校教育推進について	学校教育の指針の柱4では、地域に開かれた特色ある学校づくりと小中連携・一貫教育の推進とあるが実態を伺う。 ①学びの連続性、学習規律の維持や家庭学習の在り方などの指導の継続性を踏まえた、小中連携・一貫教育の推進の現状 ②保幼小、小中、中高の円滑な接続をめざす校園種間連携の充実の現状 ③地域の歴史・文化・産業など生かした総合的な学習の時間充実、キャリアパスポートの活用の現状。 ④社会科副読本わたしたちの甲賀市の授業時間・理解度を伺う。 ⑤今年度改訂される「わたしたちの甲賀市」の内容を伺う。 ⑥学校運営協議会や地域学校協働本部等の地域人材の積極的な活用を通じた地域に開かれた学校づくりの推進の現状 ⑦コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を生かした学校づくりの推進の現状 ⑧子どもの危機予測・回避能力を育成する安全教育・防災教育の推進と安全確保のための地域ぐるみの体制整備の推進の現状 ⑨地域活性化のための学校教育推進と今後の意気込みを教育長に伺う。	37-1 37-2 37-3 37-4 37-5 37-6 37-7 37-8 37-9	①②③④⑤⑥⑦⑧ 教育部長 ⑨教育長
13	14 番 奥村 則夫 議員	【分割】 《第3日》 (2 / 5)		
	2. コミュニティセンターと公民館の役割整理及び今後の社会教育機能のあり方について	1. コミュニティセンターと公民館の役割整理について ①現在の甲賀市において、公民館とコミュニティセンターの役割の違いをどのように整理しているのか伺う。 ②貸館機能や地域活動支援については、コミュニティセンターで一定対応できていると考えるが、市の認識を伺う。 ③現在の公民館において、コミュニティセンターでは代替できない機能をどのように考えているのか伺う。 2. 社会教育機能のあり方について ①社会教育ビジョンにおいて、公民館に期待される役割をどのように位置づけているのか伺う。 ②公民館の本質的な役割は、単なる施設管理ではなく、「学び」「人づくり」「地域課題解決につながる社会教育機能」にあると考えるが、市の見解を伺う。 ③社会教育機能については、公民館施設そのものではなく、社会教育指導員等をコミュニティセンター内へ配置することで対応できると考えるが、市の認識を伺う。 ④今後、人口減少や施設再編が進むであろう中で、社会教育機能をどのように維持・強化していく考えか伺う。 3. 今後の方向性について 今後、公民館とコミュニティセンターの複合化や役割整理を進めていく考えはあるのか。その際、社会教育法に基づく公民館機能をどのように確保していく考えか。さらに地域住民の「学び」と「地域活動」を一体的に支える拠点づくりについて、将来的な施設配置や運営体制について、基本的な方向性を伺う。	40-1 40-2	1 ①②③ 2 ①②③④ 教育委員会事務局理事 3 市長
14	10 番 福井 進 議員	【分割】 《第3日》 (3 / 5)		
	2. 小学校特別教室・体育館へのエアコン設備の設置に関して	①甲南町の3小学校の設置と土山町の設計と設置は、いつになるのか。 ②信楽町は統合により、未設置のまま休校となるのか。 ③エアコンの設置されていない教室では、どのように暑さ対策をしているのか。 総額55億7,229万円前年比10億3,162万円減額 (-15.6%) ⑤教育環境の整備は最も重要だと考えるが、小学校の空調設備の早期整備に対する見解を伺う。 ⑥小学校の体育館への空調整備に関する見解を伺う。 ⑦「子育て・教育NO.1」に向けた教育予算の拡充についての考えを伺う。	42-1 42-3 42-4	①②③教育部長 ⑤⑥教育長 ⑦市長

順番	質 問 事 項	質 問 要 旨	一連番号	質問の相手
18	3 番 村木 慶太郎 議員	【一問一答】 《第 4 日》 (2 / 5)		
	2. 小学校の体育館の断熱・遮熱改修について	1 体育館の建物性能の現状把握について 小学校体育館について、屋根、壁、窓、床、換気、断熱・遮熱性能、夏季・冬季の室温状況など、建物性能に関する現状把握は行っているかを伺う。 2 断熱・遮熱改修の必要性について 空調設備の整備には多額の費用が必要との答弁が過去にあったが、仮に将来的に空調を整備する場合でも、体育館そのものの断熱・遮熱性能が低ければ、冷暖房効率が悪く、維持管理費も高くなると考える。小学校体育館について、空調整備の前段階として、断熱・遮熱改修を検討する必要があるのではないか。 3 甲南第一小学校での断熱・遮熱体験講座の横展開について 本市では、甲南第一小学校において、甲賀市商工会青年部と連携した断熱・遮熱リフォーム体験講座が実施された。過去答弁でも子どもたちが断熱効果を体感する機会を創出したとしている。この取り組みの成果を、今後の学校施設整備、とりわけ小学校体育館の断熱・遮熱改修の検討に活かす考えはないか。 4 学校利用だけでなく地域利用を踏まえた体育館環境について 過去答弁では、小学校体育館は夏季期間中の授業や学校活動で利用する機会が比較的少ないとの認識が示された。しかし、小学校体育館は学校教育だけでなく、放課後や休日にはスポーツ少年団をはじめ、地域の子どもたちや市民の活動の場としても利用されている。学校の授業時間だけでなく、地域利用を含めて実際の利用状況を把握し、体育館環境の改善を検討すべきではないか。 5 避難所機能との関係について 小学校体育館は、災害時には避難所としての役割も担う施設である。空調整備の有無だけでなく、断熱・遮熱性能を高めることは、夏の暑さや冬の寒さを軽減し、避難所環境の底上げにもつながると考える。避難所機能強化の観点からも、小学校体育館の断熱・遮熱改修を検討すべきではないか。 6 市内事業者・商工会との連携について 過去答弁では、住宅等の高気密高断熱化を推進するためには、市民や事業者の理解を深めること、省エネ性能基準に適合したリフォーム等が施工できる市内事業者の育成も必要との認識を示している。学校施設の断熱・遮熱改修を、市内事業者の技術力向上や受注機会の創出、脱炭素の推進にもつながる取り組みとして、商工会等と連携して研究する考えはないか。	52-1 52-2 52-3 52-4 52-5 52-6	1 教育部長 2 教育部長 3 教育部長 4 教育部長 5 教育部長 6 教育部長
21	2 3 番 橋本 恒典 議員	【一問一答】 《第 4 日》 (5 / 5)		
	2. 市内におけるプール活動について	1. 学校プールにおける安全対策と事故発生時の緊急対策について ①学校プールにおける安全対策と事故発生時の緊急対策について ②施設面の安全対策について教育部長に伺う。 ③学校プールの維持管理及び修繕の現状について伺う。 2. 中学校の民間施設利用について ①昨年度、小中学校におけるプール施設整備及び水泳事業のあり方基本方針が策定され土山中学校の水泳授業を民間プールで実施されたが、今年度の状況について伺う。 ②学校プールでの水泳事業同様、安全対策は重要であるが、民間プールでの水泳授業における安全対策の現状と事故発生時の緊急対策について伺う。 3. 小学校の学校外プールについて ①昨年度、小中学校におけるプール施設整備及び水泳事業のあり方基本方針が策定され信楽の 3 小学校については高学年を対象に信楽中学校のプールを利用して行うとのことであったが、実績を伺う。 ②小学校の学校外プール利用について今年度の状況について伺う。 ③学校プールでの水泳事業同様、安全対策は重要であるが、学校外プールでの水泳授業における安全対策の現状と事故発生時の緊急対策について伺う。 5. 社会体育施設の現状について ①甲賀 B & G 海洋センターの安全対策について伺う。 ②信楽中学校室内温水プールの安全対策について伺う。	59-1 59-2 59-3 59-4 59-5 59-6 59-7 59-8 59-11 59-12	1 ①教育長 ②教育部長 ②教育部長 2 ①教育部長 ②教育部長 3 ①教育部長 ②教育部長 ③教育部長 5 ①教育委員会事務局理事 ②教育委員会事務局理事
	3. 中学生国際交流事業について	2. 中学生国際交流事業の現状について ③教育委員会の関わりについて現状を教育長に伺う。	60-5	③教育長

議案第 7 6 号

臨時代理につき承認を求めることについて

上記の議案を提出する。

令和 8 年 7 月 2 1 日

甲賀市教育委員会教育長 立 岡 秀 寿

臨時代理につき承認を求めることについて

甲賀市学校運営協議会委員の任命については、甲賀市教育委員会教育長に対する事務委任等規則(平成16年甲賀市教育委員会規則第8号)第4条の規定に基づき、次のように臨時代理したから、同条の規定によりこれを報告し、承認を求める。

臨時代理第18号

甲賀市学校運営協議会委員の任命について

甲賀市学校運営協議会規則(令和2年教育委員会規則第9号)第7条の規定に基づき、甲賀市学校運営協議会委員に別紙の者を任命することにつき、甲賀市教育委員会教育長に対する事務委任等規則(平成16年甲賀市教育委員会規則第8号)第4条の規定に基づき臨時代理する。

令和8年7月1日

甲賀市教育委員会教育長 立岡秀寿

甲賀市学校運営協議会委員

(任期：令和8年7月1日から令和9年3月31日まで)

	氏名	委員の構成	備考
1	竹 嶋 理	土山小学校学校運営協議会	地域住民

○甲賀市学校運営協議会規則

(委員の任命)

第7条 協議会の委員は15人以内とし、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) 保護者
- (2) 地域住民
- (3) 対象学校の運営に資する活動を行う者
- (4) 学識経験者
- (5) 関係行政機関の職員
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が適当と認める者

2 教育委員会は、対象学校の校長から申出があったときは、前項の委員の任命について、当該校長から意見を聴取するものとする。

3 委員の辞職等により欠員が生じた場合には、教育委員会は速やかに新たな委員を任命するものとする。

4 委員は、特別職の地方公務員の身分を有する。

議案第 77 号

甲賀市人権・同和教育推進員の解嘱について

上記の議案を提出する。

令和 8 年 7 月 21 日

甲賀市教育委員会教育長 立 岡 秀 寿

甲賀市人権・同和教育推進員の解嘱について

甲賀市人権・同和教育推進員規則（平成16年教育委員会規則第28号）第4条の規定に基づき、甲賀市人権・同和教育推進員の別紙の者を解嘱することにつき、教育委員会の議決を求める。

議案第 7 7 号別紙

甲賀市人権・同和教育推進員

(任期：令和 7 年 6 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで)

解嘱日：令和 8 年 7 月 3 1 日

	氏名	委員の構成	備考
1	福西 優也	区及び自治会長の推薦	貴生川第 1 区
2	川北 夏實	区及び自治会長の推薦	池田団地区
3	前田 裕明	区及び自治会長の推薦	池田団地区
4	高畑 秀司	区及び自治会長の推薦	多羅尾区
5	大原 崇彦	区及び自治会長の推薦	多羅尾区

【参考資料】

甲賀市人権・同和教育推進員規則

(委嘱)

第4条 推進員の委嘱は、各区及び自治会長の推薦に基づき教育委員会が行う。

議案第 78 号

甲賀市人権・同和教育推進員の委嘱について

上記の議案を提出する。

令和 8 年 7 月 21 日

甲賀市教育委員会教育長 立 岡 秀 寿

甲賀市人権・同和教育推進員の委嘱について

甲賀市人権・同和教育推進員規則（平成16年教育委員会規則第28号）第4条の規定に基づき、甲賀市人権・同和教育推進員に別紙の者を委嘱することにつき、教育委員会の議決を求める。

議案第 7 8 号別紙

甲賀市人権・同和教育推進員

(任期：令和 8 年 8 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで)

	氏名	委員の構成	備考
1	鵜飼 清治	区及び自治会長の推薦	貴生川第 1 区
2	駒田 功	区及び自治会長の推薦	池田団地区
3	戸田 幸吉	区及び自治会長の推薦	池田団地区
4	高杭 宏基	区及び自治会長の推薦	多羅尾区
5	村木 秀嗣	区及び自治会長の推薦	多羅尾区

【参考資料】

甲賀市人権・同和教育推進員規則

(委嘱)

第4条 推進員の委嘱は、各区及び自治会長の推薦に基づき教育委員会が行う。

議案第 79 号

甲賀市文化財保護審議会委員の委嘱について

上記の議案を提出する。

令和 8 年 7 月 21 日

甲賀市教育委員会教育長 立 岡 秀 寿

甲賀市文化財保護審議会委員の委嘱について

甲賀市文化財保護条例（平成 16 年甲賀市条例第 172 号）第 63 条の規定に基づき、甲賀市文化財保護審議会委員に別紙の者を委嘱することにつき、教育委員会の議決を求める。

甲賀市文化財保護審議会委員

(任期：令和 8 年 8 月 1 日から令和 1 0 年 7 月 3 1 日まで)

	氏名	委員の構成	備考
1	市川 秀之	学識経験を有する者	専門分野 民俗学 滋賀県立大学教授

【参考資料】

甲賀市文化財保護条例

(委員)

第63条 委員及び特別委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) その他教育委員会が適当と認める者